

第1 技術班スタッフの業務

班長 茂木貴之（電気電子工学科担当）

主に電気電子工学科強電実験を担当。1～2年生に対しては電気工事实習および基礎計測実験を担当している。

実験指導補助の他に実験指導書の管理および印刷、実験用計測器および実験装置の保守管理等も行い、学生実験を円滑に遂行できるよう努めている。また、学生が提出する実験レポートの回収・仕分け作業を行い、提出状況等をいち早く教員に報告し、未提出者に対する指導を行いやすくしている。

また、地域貢献の一環としての「出前実験」等を円滑に展開するために技術室内において「地域部会」を組織し、部会長として総務課企画係と連携し、技術室や各学科の教職員とともに取り組んでいる。自身でも年間数回程度ではあるが、実際に各所に出向いて出前実験を行っている。

松尾修二（電子制御工学科担当）

電子制御工学科が実施する工学実験・実習(電子工学、マイコン分野)の支援業務を行っている。主な内容としては実験・実習で使用する機器の物品管理、メンテナンス等、スケジュールの提案・調整、実験実習補助、研究支援業務である。研究支援の一つに光学機器を扱う案件がありライセンサーカメラ、エリアセンサーカメラ、レンズ系、照明機器に関する知識が得られた。現在は、光源の選択、照明の照射方法に苦慮している。また専攻科の実験実習に関する支援も一部行っている。最近は、放課後にモノ作りの支援をしていることが増えたような気がする。卒研で必要なちょっとした物（例えばマイコンで使用するセンサーユニット）の製作を手伝ったり、モノ作りをやっている部活からは加工支援やアイデアを求められることもある。そういう学生との交流はなかなか楽しいものである。

大淵寛（情報処理センター担当）

情報処理センターを担当し、総務課情報サービス係を兼任している。

技術室内では技術部会、副技術長に勤務している他、代議員として労働待遇関係の会議に出席する。

情報処理センター内では各認証システムへのユーザ登録・変更、ネットワーク設備の保守、情報処理センター運営委員会の委員業務と事務処理を常時の業務としている。また、教育用電子計算機システムとネットワークシステムの調達前には仕様策定委員として設計に携わる。

技術室内では副技術長として技術長の補佐と技術部会員を兼任する。ネットワーク配線の全体を知る立場にあり、通信障害への対処と端末の不具合対処の支援業務も多い。

福岡県北九州市出身、平成28年で満60歳を迎える。本校職員としては昭和53年、情報処理センターの前身である電子計算機室には平成5年、技術室の前身である専門技術班には平成5年に属した。趣味は器楽演奏と絵画鑑賞。

白石博伸（電気電子工学科担当）

電気電子工学科で主に弱電系実験を担当している。電気の基礎から工学的応用実験まで様々な学生実験を指導している。他にも、実験を円滑に進めるための準備、装置の管理、レポートの整理も行う。実験の他には、電気系資格試験の担当として事務・指導を行う。

また、地域貢献事業の一環として出前授業にも毎年参加している。